

# 一般社団法人日本家政学会中国・四国支部 令和2年度常任幹事会

令和2年9月27日（日）

13:30～15:30

オンライン（Zoom）

## 議 題



### 1. 協議事項

- 1) 令和元年度事業報告（案）
- 2) 令和元年度決算報告（案）  
同 監査報告
- 3) 令和2年度事業計画（案）
- 4) 令和2年度予算（案）
- 5) 令和2年度支部賞について
- 6) 支部内規申し合わせ事項（支部賞）について
- 7) 令和3年度以降の支部総会・研究発表会の開催県について
- 8) 現職教員の研究発表会支援制度について
- 9) 支部大会における「優秀研究発表賞」制度の提案について
- 10) 令和2年度の支部総会ならびに機関幹事会について
- 11) その他

### 2. 報告事項

- 1) 理事会報告
- 2) 支部ホームページ作成状況および本部ホームページとの連結について
- 3) 令和3年度（第67回）支部総会・研究発表会の開催機関について  
（徳島県常任幹事）
- 4) その他

## 令和2年度常任幹事会配布資料

- 資料1 一般社団法人日本家政学会中国・四国支部 支部役員名簿（令和2・3年度）
- 資料2 一般社団法人日本家政学会中国・四国支部 代議員名簿（令和2・3年度）
- 資料3 一般社団法人日本家政学会中国・四国支部 機関幹事名簿（令和2年度）
- 資料4 令和元年度一般社団法人日本家政学会中国・四国支部事業報告（案）
- 資料5-1 令和元年度一般社団法人日本家政学会中国・四国支部決算書（案）
- 5-2 第66回支部総会・研究発表会収支報告書・監査報告書（令和元年度）
- 5-3 貸借対照表
- 5-4 監査報告書
- 資料6 令和2年度一般社団法人日本家政学会中国・四国支部事業計画（案）
- 資料7 令和2年度一般社団法人日本家政学会中国・四国支部予算書（案）
- 資料8-1 
- 8-2 
- 8-3 支部賞の表彰状変更の提案
- 資料9 一般社団法人日本家政学会中国・四国支部支部賞授賞内規（案）新旧対照表
- 資料10-1 一般社団法人日本家政学会中国・四国支部総会・研究発表会担当機関一覧表
- 10-2 一般社団法人日本家政学会中国・四国支部総会・研究発表会担当県一覧表
- 10-3 支部総会・研究発表会担当県の割当方式
- 10-4 支部総会・研究発表会担当県案（令和2年度事務局案）
- 資料11 現職教員の研究発表支援制度内規（案）
- 資料12-1 優秀研究発表賞制度の提案の趣旨（案）
- 12-2 優秀研究発表賞内規（案）
- 資料13 支部ホームページのリニューアル
- 参考資料 歴代支部長（顧問）名簿

一般社団法人日本家政学会中国・四国支部 支部役員(案)(令和02・03年度)

役職名	県名	氏名	E-mail	Tel	勤務先	勤務先住所	
支部長	—	高橋哲也			島根大学人間科学部	〒690-8504 松江市西川津町1060	
常任幹事	鳥取	古都丞実			鳥取短期大学生活学科	〒682-8555 鳥取県倉吉市福庭854	
	島根	藤居由香			島根県立大学人間文化学部	〒690-0044 島根県松江市浜乃木7-24-2	
	山口	星野裕之			山口大学教育学部	〒753-8513 山口市大字吉田1677-1	
	広島		村上かおり			広島大学大学院教育学研究科	〒739-8524 東広島市鏡山1丁目1-1
			岡本洋子			広島修道大学	〒731-3195 広島市安佐南区大塚東一丁目1番1号
	岡山		山下広美			岡山県立大学保健福祉学部	〒719-1197 総社市窪木111
			李璟媛			岡山大学大学院教育学研究科	〒700-8530 岡山市北区津島中3-1-1
	香川		次田一代			香川短期大学	〒769-0201 香川県綾歌郡宇多津町浜一番丁10番地
	愛媛		眞鍋郁代			愛媛大学教育学部	〒790-8577 松山市文京町3番
	高知		島田郁子			高知県立大学健康栄養学部	〒781-8515 高知県高知市池2751-1
徳島		坂本有芳			鳴門教育大学学校教育研究科	〒772-8502 徳島県鳴門市鳴門町高島字中島748番地	

役職名	氏名	所属	E-mail
監事	鈴木明子	広島大学大学院	
	三木幹子	広島女学院大学	
会計幹事	鎌野育代	島根大学	
	伊藤 優	島根大学	
庶務幹事	鶴永陽子	島根大学	

資料1  
R02年度常任幹事会  
R02年9月27日(日)

## 資料2

R02年度常任幹事会  
R02年9月27日（日）

## 一般社団法人日本家政学会中国・四国支部 代議員名簿（令和02・03年度）

氏名	勤務先	県名
	住所	
	TEL・FAX	
	E-mail	
上田 悦子	鳥取大学医学部	鳥取
	〒683-5803鳥取県米子市西町86	
畝 五月	香川大学教育学部	香川
	〒760-8522 高松市幸町1-1	
岡本 威明	愛媛大学教育学部	愛媛
	〒790-8577 松山市文京町3番	
高田 宏	広島大学大学院人間社会科学研究科	広島
	〒739-8524 東広島市鏡山1丁目1-1	
西尾 幸一郎	山口大学教育学部	山口
	〒753-8513 山口市大字吉田1677-1	

資料3  
R02年度常任幹事会  
R02年9月27日（日）

一般社団法人日本家政学会中国・四国支部 機関幹事名簿（令和02年度）

令和2年8月27日現在

	機関名	機関幹事	E-mail
1	鳥取短期大学	古都丞美	
2	鳥取大学	上田悦子	
3	島根県立大学・島根県立大学短期大学部	藤居由香	
4	島根大学	正岡 さち	
5	宇部フロンティア大学短期大学部	未定	
6	山口県立大学	園田純子	
7	山口大学教育学部	森永 八江	
8	広島修道大学	島田和子	
9	比治山大学・比治山大学短期大学部	森田清美	
10	広島女学院大学	熊田 亜矢子	
11	県立広島大学	石橋ちなみ	
12	広島大学大学院教育学研究科	富永 美穂子	
13	広島文化学園短期大学	海切 弘子	
14	広島国際大学	木村留美	
15	広島文教大学	戸松 美紀子	
16	福山大学生命工学部	近藤寛子	
17	福山市立大学	正保正恵	
18	安田女子大学	嶋田 さおり	
19	広島都市学園大学	田丸尚美	
20	山陽女子短期大学	津村 なみえ	
21	岡山県立大学保健福祉学部	丸田 ひとみ	
22	岡山大学大学院教育学研究科	河田哲典	
23	倉敷市立短期大学	佐藤 希代子	
24	くらしき作陽大学食文化学部	未定	
25	山陽学園大学・山陽学園短期大学	権田あずさ	
26	就実短期大学	未定	
27	中国学園大学・中国短期大学	加賀田江里	
28	ノートルダム清心女子大学	西隆太朗	
29	美作大学・短期大学部	土海一美	
30	倉敷芸術科学大学	大杉忠則	
31	香川短期大学	次田一代	
32	香川大学教育学部	畦五月	
33	愛媛大学教育学部	金子省子	
34	松山東雲短期大学	未定	
35	高知県立大学健康栄養学部	島田郁子	
36	高知大学教育学部	磯部香	
37	四国大学生活科学部・短期大学部	有内 則子	
38	徳島文理大学人間生活学部・短期大学部	岡山千賀子	
39	鳴門教育大学学校教育学部	坂本 有芳	

## 令和元年度一般社団法人日本家政学会中国・四国支部事業報告(案)

1. 令和 2・3 年度支部長候補者選挙  
常任幹事会（書面会議） 令和元年 6 月 7 日付  
常任幹事に投票用紙発送 令和元年 6 月 26 日（投票締め切り 7 月 3 日）  
支部長候補者選挙開票 令和元年 7 月 8 日
2. 令和 2・3 年度支部長，理事候補者，代議員選挙  
選挙管理委員会設置 令和元年 5 月 30 日  
代議員立候補受付 令和元年 6 月 17 日～20 日  
常任幹事会（書面会議） 令和元年 7 月 9 日付  
支部正会員に選挙関係書類発送 令和元年 7 月 17 日（投票締め切り 7 月 31 日）  
選挙開票 令和元年 8 月 5 日
3. 常任幹事選出  
各県常任幹事に次期常任幹事選出を依頼 令和元年 9 月 1 日
4. 常任幹事会  
令和元年 9 月 23 日（月） 12:00～15:00  
於 TKP ガーデンシティ PREMIUM 広島駅北口ミーティングルーム 3G  
第 1 回臨時常任幹事会（書面会議） 令和元年 10 月 1 日付
5. 公開講演会（日本家政学会中国・四国支部・日本調理科学会中国・四国支部合同公開講演会）  
令和元年 10 月 12 日（土） 13:30～15:50 於 広島修道大学 8 号館 8302  
演題名：『保険は生活の質的向上に役立つか』  
講 師： 中井教雄先生 広島修道大学 商学部 商学科 准教授  
演題名：『食品のにおい成分を測る 一魚のにおいを中心に』  
講 師： 谷本昌太先生 県立広島大学 人間文化学部 健康科学科 教授
6. 機関幹事会  
令和元年 10 月 12 日（土） 16:00～17:30 於 広島修道大学 8 号館 8304
7. 懇親会  
令和元年 10 月 12 日（土） 18:30～20:30 於 広島グランドインテリジェントホテル
8. 研究発表会  
令和元年 10 月 13 日（日）  
口頭発表 10:00～11:00 於 広島修道大学 8 号館 8302, 8305  
ポスター発表 11:10～11:50 於 広島修道大学 8 号館 8306
9. 総会  
令和元年 10 月 13 日（日） 13:00～13:50 於 広島修道大学 8 号館 8302

<⑤中国・四国支部>2019年度決算書

(2019年4月1日から2020年3月31日まで)

(単位：円)

科目	注意	予算	決算	差異	備考
一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
①基本財産運用益	(本部のみ)				
特定資産運用益	大会基金となっている定期預金の利息			0	
入会金				0	
年会費				0	
会誌購読料				0	
大会等参加費	参加費、懇親会費、弁当代	400,000	400,900	▲ 900	
広告料				0	
刊行物売上	要旨集代	50,000	62,000	▲ 12,000	
著者負担金				0	
補助金	(名称と交付者を備考欄に記載願います。)			0	
一般寄付金	活動全般に使用してよい寄付金			0	
特別寄付金	用途を限定した寄付金		40,000	▲ 40,000	広島修道大学学会開催補助金他
雑収入	普通預金利息	300	14	286	
②本部からの支部費	(支部のみ、選挙の為の通信費も含む)	464,500	412,250		
本部からの支部活動活性化サポート費	(支部のみ)				
本部からの活動助成費	活動助成金全額(税金も含む)		35,752	▲ 35,752	
<b>経常収益計</b>		<b>914,800</b>	<b>950,916</b>	<b>▲ 36,116</b>	
(2) 経常費用					
①事業費		1,060,000	1,113,150	▲ 53,150	
大会会場使用料		60,000	92,400	▲ 32,400	
大会講師謝金	講師への支払い総額(旅費交通費含む)			0	
大会旅費交通費	実行委員会メンバーなど講師以外への支払い			0	
大会消耗品	文具等だけではなく弁当代、懇親会費等も含む	300,000	605,959	▲ 305,959	
大会印刷費		10,000	17,125	▲ 7,125	
大会研究発表要旨集作成費		100,000	81,540	18,460	
大会通信運搬費		50,000	57,375	▲ 7,375	
大会臨時雇賃金		100,000	81,000	19,000	
総会費				0	
セミナー・講演会等会場使用料		20,000	34,151	▲ 14,151	
セミナー・講演会等講師謝金	講師への支払い総額(旅費交通費含む)	50,000	0	50,000	
セミナー・講演会等旅費交通費	実行委員会メンバーなど講師以外への支払い			0	
セミナー・講演会等消耗品	文具等だけではなく弁当代、懇親会費等も含む	20,000	0	20,000	
セミナー・講演会等印刷費				0	
セミナー・講演会等研究発表要旨集作成費				0	
セミナー・講演会等通信運搬費				0	
セミナー・講演会等臨時雇賃金				0	
学会誌等関連印刷費				0	
学会誌等関連通信費				0	
学会誌等関連原稿料・校閲料等				0	
学会誌等関連電子ジャーナル化費用				0	
研究補助費				0	
表彰費	奨励賞等	100,000	0	100,000	
関連学会等会費				0	
会議費		50,000	33,600	16,400	
広報費				0	
旅費交通費	大会、セミナー・講演会関連以外の事業に関する旅費交通費	150,000	110,000	40,000	
事務委託費				0	
支払負担金				0	
雑費	大会、セミナー・講演会関連以外の事業に関する雑費	50,000	0	50,000	
②管理費		120,000	70,102	49,898	
給料手当			18,450	▲ 18,450	
福利厚生費				0	
旅費交通費	(本部のみ)				
通信運搬費	大会、セミナー・講演会関連以外の通信運搬費	100,000	44,529	55,471	
備品費				0	
消耗品費	大会、セミナー・講演会関連以外の消耗品	20,000	7,123	12,877	
光熱水料費				0	
雑費	(本部のみ)				
租税公課	(本部のみ法人税、消費税等本部のみ計上)				
地代	(本部のみ)			0	
印刷費	大会、セミナー・講演会関連以外の印刷費			0	
修繕費				0	
減価償却費	(本部のみ)				
リース料				0	
事務所管理費				0	
退職給与引当金繰入額	(本部のみ)				
③支部費					
支部活動活性化サポート費	(本部の支出を計上する欄)				
活動助成費					
<b>経常費用計</b>		<b>1,180,000</b>	<b>1,183,252</b>	<b>▲ 3,252</b>	
<b>当期経常増減額</b>		<b>▲ 265,200</b>	<b>▲ 232,336</b>	<b>32,864</b>	
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益	(例えば不動産を売る等、通常の活動外での収入、支出なのでほぼ該当なし)				
(2) 経常外費用					
当期経常外増減額					
<b>当期一般正味財産増減額</b>		<b>▲ 265,200</b>	<b>▲ 232,336</b>	<b>32,864</b>	
一般正味財産期首残高	(2018年度末の定期預金、普通預金、現金等の全ての金額)	2,150,610	2,150,610	0	
一般正味財産期末残高	(2019年度末の定期預金、普通預金、現金等の全ての金額)	1,885,410	1,918,274	▲ 32,864	

## 第66回支部総会・研究発表会 収支報告書

(令和元年度) 於：広島

科 目	令和元年度予算額	令和元年度決算額	差額	備 考
I. 収入				
1. 財産運用収入	0	0	0	
受取利息	0	0	0	
2. 参加費	75,000	100,900	△25,900	大会参加費内訳
正会員	75,000	93,000	△18,000	1,500円×62名
学生会員	0	3,900	△3,900	300円×13名
非会員	0	4,000	△4,000	2,000円×2名
3. 学会開催補助金	30,000	30,000	0	広島修道大学学会開催補助金
4. 要旨集頒布代	50,000	62,000	△12,000	1,000円×62冊
5. 補助金収入	430,000	500,000	△70,000	大会補助金
本部補助金	430,000	430,000	0	
支部補助金	0	70,000	△70,000	
6. 寄付金収入	0	10,000	△10,000	
一般寄付金収入	0	10,000	△10,000	目的が決まっていない寄付金
特別寄付金収入	0	0	0	目的が決まった寄付金
7. 懇親会参加費	300,000	270,000	30,000	7,500円×36名
8. 弁当売上代金	50,000	30,000	20,000	弁当1,000円×30人分
9. 雑収入	0	0	0	その他の収入
<b>収入 計</b>	<b>935,000</b>	<b>1,002,900</b>	<b>△67,900</b>	
II. 支出				
1. 大会・研究発表会開催費	290,000	269,070	20,930	
会場費	110,000	92,400	17,600	パネルレンタル代
印刷代	20,000	17,125	2,875	要旨集以外の印刷代
臨時雇賃金	90,000	81,000	9,000	アルバイト代
通信運搬費	60,000	57,375	2,625	大会案内等送付料他
消耗品費	10,000	21,170	△11,170	事務用品等
2. 研究発表要旨集代	90,000	81,540	8,460	プログラム39,420、要旨集42,120
3. 講演会開催費	34,411	34,151	260	
講師謝礼	33,411	33,411	0	講師謝礼の源泉徴収税を含む
講師交通費	1,000	740	260	
会場費	0	0	0	
4. 懇親会費	300,000	466,992	△166,992	
会費	300,000	304,450	△4,450	
講師謝礼	0	100,233	△100,233	講師謝礼33,411円×3人
臨時雇賃金	0	21,600	△21,600	懇親会アルバイト代
駐車場代	0	7,100	△7,100	打ち合わせ、準備運搬
手土産	0	16,200	△16,200	講師挨拶、懇親会参加者への土産
茶席物品	0	17,409	△17,409	茶菓、茶立て用具
5. 弁当代金	50,000	50,198	△198	
6. 総会費	0	0	0	
7. 会議費	40,000	8,025	31,975	
8. 雑費	80,000	59,574	20,426	広報費、振込手数料、休憩室物品ほか
9. 予備費	50,589	33,350	17,239	
<b>支出 計</b>	<b>935,000</b>	<b>1,002,900</b>	<b>△67,900</b>	

△:予算に比して決算額の増を示す。

令和 年度収支報告書について監査した結果、正確かつ妥当なことを認めます。

令和 2 年 3 月 31 日

監事

前田ひろみ



監事

伊藤圭子





貸借対照表 (⑤中国・四国支部)  
(2020年3月31日現在)

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
手許現金	0	0	0
普通預金( )			
通常貯金(ゆうちょ銀行518)	1,538,274	1,770,610	▲ 232,336
振替口座(ゆうちょ銀行)			
流動資産合計	<b>1,538,274</b>	<b>1,770,610</b>	<b>▲ 232,336</b>
2. 固定資産			
支部大会基金引当預金			
定期預金( )			
定額貯金(ゆうちょ銀行518)	380,000	380,000	0
固定資産合計	<b>380,000</b>	<b>380,000</b>	<b>0</b>
<b>資産合計</b>	<b>1,918,274</b>	<b>2,150,610</b>	<b>▲ 232,336</b>
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払い金			
<b>負債合計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
III 正味財産の部			
正味財産			
1. 指定正味財産			
2. 一般正味財産	<b>1,918,274</b>	<b>2,150,610</b>	<b>▲ 232,336</b>
<b>負債及び正味財産合計</b>	<b>1,918,274</b>	<b>2,150,610</b>	<b>▲ 232,336</b>

## 監 査 報 告 書

一般社団法人 日本家政学会  
会 長 大塚 美智子 殿


私ども監事は、2019 年 4 月 1 日から 2020 年 3 月 31 日までの 2019 年度の支部の重要な会議に出席するほか、事業報告を聞き、重要な書類を閲覧し、主要な調査を行い、かつ当該事業年度に係る計算書類について監査を実施した結果、次のとおり報告します。

1. 事業報告は規程に従い、支部の状況を正しく示しているものと認めます。
2. 貸借対照表は 2019 年度期末現在の財政状態を正しく示していると認めます。
3. 正味財産増減計算書は 2019 年度の収支の状況を適正に表示していると認めます。
4. 役員の職務遂行に関する不正の行為または定款に違反する重大な事実は認められません。

以上

2020 年 3 月 31 日

一般社団法人 日 本 家 政 学 会  
( 中国・四国 ) 支部

監事 前田 ひろみ 

監事 伊藤 圭子 

## 令和2年度一般社団法人日本家政学会中国・四国支部事業計画(案)

### 1. 常任幹事会

令和2年9月27日（日）13:30～15:30 オンライン会議

第1回臨時常任幹事会（書面会議） 令和2年4月10日付

第2回臨時常任幹事会（書面会議） 令和2年6月7日付

第3回臨時常任幹事会（書面会議） 令和2年8月26日付

### 2. 総会（11月中下旬予定）

### 3. 支部賞の授与

### 4. 現職教員の研究発表支援制度

### 5. 支部研究発表会 優秀研究発表賞制度の提案

### 6. 支部ホームページリニューアル

〈⑤中国・四国支部〉2020年度予算書

(2020年4月1日から2021年3月31日まで)

(単位:円)

科 目	注 意	2020年度	2019年度	備 考
一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益	(本部のみ)			
特定資産運用益	大会基金となっている定期預金の利息			
入会金				
年会費				
会誌購読料				
大会等参加費		0	400,000	
広告料				
刊行物売上		0	50,000	
著者負担金				
補助金				
一般寄付金	活動全般に使ってよい寄付金			
特別寄付金	用途を限定した寄付金			
雑収入	普通預金利息	300	300	
② 本部からの支部費	(支部のみ、選挙の為の通信費も含む)	408,750	464,500	
本部からの支部活動活性化サポート費	(支部のみ)			
本部からの活動助成費	活動助成金全額(税金も含む)			
<b>経常収益計</b>		<b>409,050</b>	<b>914,800</b>	
(2) 経常費用				
① 事業費		<b>300,000</b>	<b>1,060,000</b>	
大会会場使用料		0	60,000	
大会講師謝金	講師への支払い総額(旅費交通費含む)			
大会旅費交通費	実行委員会メンバーなど講師以外への支払い			
大会消耗品		0	300,000	
大会印刷費		0	10,000	
大会研究発表要旨集作成費		0	100,000	
大会通信運搬費		0	50,000	
大会臨時雇賃金		0	100,000	
総会費				
セミナー・講演会等会場使用料		0	20,000	
セミナー・講演会等講師謝金	講師への支払い総額(旅費交通費含む)	0	50,000	
セミナー・講演会等旅費交通費	実行委員会メンバーなど講師以外への支払い			
セミナー・講演会等消耗品		0	20,000	
セミナー・講演会等印刷費				
セミナー・講演会等研究発表要旨集作成費				
セミナー・講演会等通信運搬費				
セミナー・講演会等臨時雇賃金				
学会誌等関連印刷費				
学会誌等関連通信費				
学会誌等関連原稿料・校閲料等				
学会誌等関連電子ジャーナル化費用				
研究補助費				
表彰費	奨励賞等	100,000	100,000	
関連学会等会費				
会議費		50,000	50,000	オンライン会議・契約料他
広報費				
旅費交通費	大会、セミナー・講演会関連以外の事業に関する旅費交通費	100,000	150,000	
事務委託費				
支払負担金				
雑費	大会、セミナー・講演会関連以外の事業に関する雑費	50,000	50,000	
② 管理費		<b>541,000</b>	<b>120,000</b>	
給料手当		30,000		アルバイト謝金
福利厚生費				
旅費交通費	(本部のみ)			
通信運搬費	大会、セミナー・講演会関連以外の通信運搬費	150,000	100,000	会員への資料郵送料
備品費		21,000		印鑑代(支部会角印)
消耗品費		20,000	20,000	
光熱水料費				
雑費	(本部のみ)			
租税公課	(法人税、消費税等本部のみ計上)			
地代	(本部のみ)			
印刷費	大会、セミナー・講演会関連以外の印刷費	20,000		会議資料他
修繕費				
減価償却費	(本部のみ)			
リース料				
事務所管理費				
退職給与引当金繰入額	(本部のみ)			
HP作成及び本部サーバー使用料		300,000		HP作成経費(項目新設)
③ 支部費				
支部活動活性化サポート費	(本部の支出を計上する欄)			
活動助成費				
<b>経常費用計</b>		<b>841,000</b>	<b>1,180,000</b>	
<b>当期経常増減額</b>		<b>-431,950</b>	<b>-265,200</b>	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益	(例えば不動産を売る等、通常の活動外での収入、支出)			
(2) 経常外費用				
当期経常外増減額				
<b>当期一般正味財産増減額</b>		<b>-431,950</b>	<b>-265,200</b>	
<b>一般正味財産期首残高</b>	<b>定期預金、普通預金、現金等の全ての金額</b>	<b>2,150,609</b>	<b>2,150,610</b>	
<b>一般正味財産期末残高</b>		<b>1,718,659</b>	<b>1,885,410</b>	

### 【中国・四国支部 支部賞の表彰状変更の提案】

本支部では、家政学の進歩発展に寄与した本支部所属の若手研究者に対し、中国・四国支部賞を授与しています。受賞者本人にとって、誇りや榮譽を感じる機会になっているものと思います。また、モチベーションアップにも繋がっているものと思います。今回、従来の紙製表彰状より木製表彰盾に変更することによって、その効果をより高めたいと考えています。

通常は、デザイン決めを含めて3週間の納期で仕上がります。常任幹事会での支部賞決定後、支部総会まで約1か月ですので、支部賞の表彰盾の作製は間に合います。



### 授与する「木製表彰盾」のイメージ

<参考>

300×225mm	¥14,000 (税別)
270×205mm	¥12,000 (税別)
240×180mm	¥9,000 (税別)

旧

新

一般社団法人日本家政学会中国・四国支部支部賞授賞内規	一般社団法人日本家政学会中国・四国支部支部賞授賞内規 (案)
<p>1. 中国・四国支部賞の授賞は、本内規により行う。</p> <p>2. 本支部は、家政学の進歩発展に寄与した本支部所属の若手研究者に対し、中国・四国支部賞を授賞する。</p> <p>3. 授賞資格及び対象論文等は次のとおりとする。            (1) 年齢は、45 歳未満とする。ただし、候補者が大学院在学中に投稿した論文については前記年齢を問わない。            (2) 授賞のとき、家政学会の会員であること。            (3) 授賞の対象は、大会開催の当該年度の前年度に発行された日本家政学会誌の 1 月号～12 月号に掲載された論文等（報文、ノート、資料）とする。ただし、筆頭者である場合に限る。</p> <p>4. 中国・四国支部賞授賞者には、大会において賞状及び副賞を贈る。これらに要する費用は、本支部経費及び寄付金をもって充てる。</p> <p>5. 授賞者の選考手続きは次のとおりとする。            (1) 授賞候補者は、正会員からの推薦及び自薦による。            (2) 授賞候補者の推薦に当たっては、規定の推薦書を授賞年度の 7 月 31 日までに、支部長に提出する。            (3) 支部長は、推薦書を受理した後、支部賞選考委員会（以下、選考委員会という。）を設置し、全ての授賞候補者に関する選考を本委員会に付託する。            (4) 選考委員会は、選考結果を常任幹事会に報告する。            (5) 常任幹事会は、授賞者を決定し、授賞者本人に対しては、支部長より書面をもって通知する。</p> <p>6. 選考委員会の委員は 3 名とし、常任幹事会で決定する。</p> <p>7. 選考委員会の委員の選任及び運営は次のとおりとする。            (1) 支部賞授賞候補者の推薦者及び共著者は、選考委員になることはできない。            (2) 委員長の選出は、互選による。            (3) 推薦書については、推薦者または授賞候補者に照会することができる。</p> <p>8. 本内規の改廃は、中国・四国支部常任幹事会の議を経て行う。</p>	<p>1. 中国・四国支部賞の授賞は、本内規により行う。</p> <p>2. 本支部は、家政学の進歩発展に寄与した本支部所属の若手研究者に対し、中国・四国支部賞を授賞する。</p> <p>3. 授賞資格及び対象論文等は次のとおりとする。            (1) 年齢は、45 歳未満とする。ただし、候補者が大学院在学中に投稿した論文については前記年齢を問わない。 <b>なお、該当する年齢は、掲載年度の 1 月 1 日時点とする。</b>            (2) 授賞のとき、家政学会の会員であること。            (3) 授賞の対象は、大会開催の当該年度の前年度に発行された日本家政学会誌の 1 月号～12 月号に掲載された論文等（報文、ノート、資料）とする。ただし、筆頭者である場合に限る。</p> <p>4. 中国・四国支部賞授賞者には、大会において賞状及び副賞を贈る。これらに要する費用は、本支部経費及び寄付金をもって充てる。</p> <p>5. 授賞者の選考手続きは次のとおりとする。            (1) 授賞候補者は、正会員からの推薦及び自薦による。            (2) 授賞候補者の推薦に当たっては、規定の推薦書を授賞年度の 7 月 31 日までに、支部長に提出する。            (3) 支部長は、推薦書を受理した後、支部賞選考委員会（以下、選考委員会という。）を設置し、全ての授賞候補者に関する選考を本委員会に付託する。            (4) 選考委員会は、選考結果を常任幹事会に報告する。            (5) 常任幹事会は、授賞者を決定し、授賞者本人に対しては、支部長より書面をもって通知する。</p> <p>6. 選考委員会の委員は 3 名とし、常任幹事会で決定する。</p> <p>7. 選考委員会の委員の選任及び運営は次のとおりとする。            (1) 支部賞授賞候補者の推薦者及び共著者は、選考委員になることはできない。            (2) 委員長の選出は、互選による。            (3) 推薦書については、推薦者または授賞候補者に照会することができる。</p> <p>8. 本内規の改廃は、中国・四国支部常任幹事会の議を経て行う。</p>
<p>附則</p> <p>施行 平成 15 年 10 月 5 日 改定 平成 24 年 10 月 7 日</p>	<p>附則</p> <p>施行 平成 15 年 10 月 5 日 改定 平成 24 年 10 月 7 日</p>

改定 平成 30 年 9 月 9 日  
改定 令和 元年 10 月 8 日

#### 申し合わせ事項

1. 選考委員会の委員は、大会を担当する当該年度の開催県選出の常任幹事、次期及び次次期開催県の常任幹事の順に 3 名選出する。
2. 複数の論文等が掲載された場合には、上位のもの 1 件を対象とする。副賞は、報文 3 万円、ノート 2 万円、資料 1 万円とする。ただし、常任幹事会に諮り、変更できるものとする。
3. 推薦書の書式は別に定める。
4. 本申し合わせの改廃は、中国・四国支部常任幹事会の議を経て行う。

#### 附則

施行 平成 15 年 10 月 5 日  
改定 平成 24 年 10 月 7 日  
改定 平成 29 年 9 月 17 日

改定 平成 30 年 9 月 9 日  
改定 令和 元年 10 月 8 日  
改定 令和 2 年 9 月 27 日

#### 申し合わせ事項

1. 選考委員会の委員は、大会を担当する当該年度の開催県選出の常任幹事、次期及び次次期開催県の常任幹事の順に 3 名選出する。
2. 複数の論文等が掲載された場合には、上位のもの 1 件を対象とする。副賞は、報文 3 万円、ノート 2 万円、資料 1 万円とする。ただし、常任幹事会に諮り、変更できるものとする。
3. 推薦書の書式は別に定める。
4. 本申し合わせの改廃は、中国・四国支部常任幹事会の議を経て行う。

#### 附則

施行 平成 15 年 10 月 5 日  
改定 平成 24 年 10 月 7 日  
改定 平成 29 年 9 月 17 日

資料10-1  
R02年度常任幹事会  
R02年9月27日(日)

一般社団法人日本家政学会中国・四国支部 総会・研究発表会担当機関一覧表

令和2年9月27日現在

回	年次	担当県	会 場	担当機関
発会式	昭29	広島	広島大	広島大
1	30	山口	山口女短大	山口女短大
2	30	高知	高知女大	高知女大・高知大
3	31	島根	島根大	島根大・県立島根女短大
4	32	徳島	徳島大	徳島大
5	33	岡山	岡山大	岡山大
6	34	愛媛	愛媛大	愛媛大
7	35	広島	広島女大	広島女大・広島女学院大短大
8	36	鳥取	鳥取大	鳥取大
9	37	香川	香川大	香川大
10	38	山口	山口大	山口大・山口女短大・宇部短大
11	39	高知	高知女大	高知女大
12	40	岡山	ノートルダム清心女大	ノートルダム清心女大・他5大学
13	41	島根	島根大	島根大・県立島根女短大
14	42	徳島	徳島女大・四国女大	徳島女大・四国女大・徳島大
15	43	広島	広島文化女短大	広島文化女短大
16	44	愛媛	松山東雲短大	松山東雲短大
17	45	山口	宇部短大	宇部短大・山口大・山口女短大
18	46	岡山	美作女大	美作女大
19	47	香川	香川県明善短大	香川県明善短大 他
20	48	広島	広島女学院大短大	広島女学院大短大・大下学園女短大・比治山女短大
21	49	広島	広島大教育(福山)	広島大教育(福山)
22	50	高知	高知大	高知大・高知女大・高知学園短大
23	51	鳥取	鳥取市福祉文化会館	鳥取大・鳥取女短大
24	52	岡山	岡山大	岡山大
25	53	徳島	徳島県郷土文化会館	四国女大・徳島大・徳島文理大
26	54	広島	広島大学学校教育	広島大学学校教育・鈴峯女短大
27	55	愛媛	聖カクレ女短大	聖カクレ女短大・愛媛大・松山東雲短大・今治明德短大
28	56	島根	島根大	島根大・県立島根女短大
29	57	山口	山口女大	山口女大・山口大・宇部短大
30	58	香川	上戸学園女短大	上戸学園女短大・香川大・香川県明善短大・香川短大
31	59	岡山	中国短大	岡山県下全大学(30周年記念)
32	60	広島	安田女短大	安田女短大・文教女大短大・山陽女短大
33	61	高知	高知女大	高知女大・高知学園短大・高知大
34	62	鳥取	鳥取大	鳥取大・鳥取女短大
35	63	愛媛	愛媛大	愛媛大・松山東雲短大・聖カクレ女短大・今治明德短大
36	平1	岡山	岡山女短大	岡山女短大・神戸女大瀬戸短大・山陽学園短大
37	2	徳島	徳島県郷土文化会館	徳島大・四国女大・徳島文理大・鳴門教育大
38	3	広島	福山市立女短大	福山市立女短大
39	4	山口	山口大	山口大
40	5	岡山	就実短大	就実短大



総会・研究発表会担当機関一覧(続き)

回	年次	担当県	会 場	担当機関
41	6	香川	香川短大	香川大教, 農・香川短大・香川県明善短大・瀬戸内短大
42	7	島根	島根県立女短大	島根県立女短大・島根大
43	8	愛媛	松山東雲女大・短大	松山東雲女大短大・今治明德短大・愛媛大・聖カトリック女短大
44	9	広島	広島大	広島大教育・広島大学校教育
45	10	高知	高知大	高知大・高知女大・高知学園短大
46	11	徳島	徳島文理大・四国大	徳島大・徳島文理大・四国大
47	12	岡山	山陽学園短大	山陽学園短大
48	13	山口	宇部短大	宇部短大
49	14	鳥取	鳥取短大	鳥取短大・鳥取大
50	15	広島	県立広島女子大	県立広島女子大
51	16	香川	香川大学教育学部	香川大学農学部
52	17	愛媛	聖カトリック大学	愛媛大・聖カトリック大短大部・松山東雲大・松山東雲短大
53	18	岡山	岡山大	岡山大・ノートルダム清心女子大・美作大・同短期大学部
54	19	島根	松江テルサ	島根県立大短大・島根大
55	20	広島	安田女子大学	安田女子大学・比治山大学短期大学部
56	21	高知	高知会館	高知女子大学・高知大学・高知学園短期大学
57	22	山口	山口県立大学	山口県立大学・山口大学・宇部フロンティア大学短期大学部
58	23	徳島	鳴門教育大学	鳴門教育大学・四国大学・徳島文理大学
59	24	岡山	岡山県立大学	岡山県立大学・くらしき作陽大学・岡山学院大学
60	25	香川	香川大学教育学部	香川大学教育学部・香川短期大学
61	26	広島	広島女学院大学	広島女学院大学
62	27	鳥取・島根	鳥取短期大学・鳥取看護大学	鳥取短期大学・島根県立大学短期大学部・島根大学
63	28	愛媛・香川	愛媛大学	愛媛大・松山東雲女子大・松山東雲短大・香川大・香川短大
64	29	岡山	美作大学	岡山大学, 山陽学園大学, 就実短期大学, 美作大学, ノートルダム清心女子大学
65	30	高知	高知大学	高知大学, 高知県立大学
66	31/令1	広島	広島修道大学	広島修道大学・広島文化学園短期大学・広島都市学園大学
中止	令2	—		
67	3	徳島		
68	4	山口		
69	5	岡山		
70	6	香川・愛媛		

一般社団法人日本家政学会中国・四国支部 総会・研究発表会担当県一覧表

令和2年9月27日現在

回	発会	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36																
年度	S29	30	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	H1																
支部長名	岡上誠子								溝上泰子				筒井まさを				大坪サキ				野口二三子				吉岡清子				瀬之口スミ								小野謙二				山田都一												
広島	○							○									○					○	○					○										○															
山口		○									○							○													○																						
高知			○									○												○																													
島根				○											○															○																							
徳島					○											○												○																									
岡山						○								○							○						○																									○	
愛媛							○										○													○																					○		
鳥取										○																○																										○	
香川												○																																									○

回	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	—	67	68	69																				
年度	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31/R1	2	3	4	5																				
支部長名	佐藤 孜郎				田村 咲江				杉原 黎子				石川 行弘				岩重博文				平田 道憲				河田 哲典				今川 真治				高橋 哲也																					
広島		○						○							○				○							○					○																							
山口			○								○										○																															○		
高知										○											○										○																							
島根						○											○																																					
徳島	○									○													○																													○		
岡山				○							○						○							○					○																								○	
愛媛							○									○													○																									
鳥取													○																																									
香川					○										○												○																											

資料 10-3  
R02年度常任幹事会  
R02年9月27日(日)

支部総会・研究発表会担当県の割当方式  
昭和59年4月1日

県名	会員大学数	担当頻度
広島	12	6年間に1回担当
岡山	10	〃
山口	5	9年間に1回担当
香川	4	〃
愛媛	4	〃
徳島	3	12年間に1回担当
高知	3	〃
鳥取	2	14年間に1回担当
島根	2	〃
計	45	

この方式によれば、42年間に41回担当県を決めることができる。

平成26以降の事務局案

県名	会員大学数	担当頻度
広島	10	5年間に1回担当
岡山	10	〃
山口	3	10年間に1回担当
香川	2	7年間に1回担当
愛媛	2	
徳島	3	10年間に1回担当
高知	3	〃
鳥取	1	〃
島根	2	
計	36	

平成27年8月29日 常任幹事会承認  
平成27年9月19日 機関幹事会承認

令和2年度(令和2年8月25日現在)

県名	会員大学数	機関所属正会員数	担当頻度
広島	13	58	5年間に1回担当
岡山	10	31	〃
山口	3	9	10年間に1回担当
香川	2	8	7年間に1回担当
愛媛	2	6	
徳島	3	26	10年間に1回担当
高知	2	5	〃
鳥取	2	5	〃
島根	2	8	
計	39	156	

一般社団法人日本家政学会中国・四国支部 総会・研究発表会担当県案

令和2年9月27日現在

		回		49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	—	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	
	機関数	年度	直前回	H14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31/R1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	15	
広島	13	1/5	61		○					○						○					○						○										
岡山	10	1/5	64					○						○					○						○				○								○
香川・愛媛	2+2=4	1/7	63			香	愛								香		愛									○											
鳥取・島根	2+2=4	1/10	62	鳥					鳥								鳥										○										
山口	3	1/10	57									○												○													
徳島	3	1/10	58										○										○														○
高知	2	1/10	65								○									○																	
	39	33/35																																			

〔平成29年9月17日常任幹事会承認〕  
〔平成29年9月30日機関幹事会承認〕

資料10-4  
R01年度常任幹事会  
R02年9月27日(日)

資料 11

R02 年度常任幹事会

R02 年 9 月 27 日(日)

**(一社)日本家政学会中国・四国支部 現職教員の研究発表支援制度内規(案)**

1. 中国・四国支部支部大会における現職教員の参加／発表を奨励し、もって学術研究の促進を目的とする。研究発表支援制度は、本内規により行う。
2. 本支部は、本支部が主催する「中国・四国支部大会」において、本支部会員である現職教員に対し、支部大会の参加によって発生する交通費の半額を補助する。これらに要する費用は、本支部経費及び寄付金をもって充てる。
3. 適用される現職教員とは、次のとおりとする。
  - (1) 小学校、中学校、高等学校に勤務する教員とする。その際、常勤、非常勤は問わない。
  - (2) 支部大会参加のとき、本支部の会員であること。
  - (3) 支部大会での主発表者であること。主発表者とは主体的に研究を行った者とし、必ずしも登壇者である必要はない。
4. 補助を希望される現職教員は、参加申し込みの際に申し出ること。その際、現職教員であることが証明できる書類等を添付すること。また交通経路も記載すること。
5. 交通費補助の給付手続きは次のとおりとする。
  - (1) 申請手続  
補助を受けようとする現職教員は、参加補助金申請書を実行委員長に提出するものとする。
  - (2) 給付の決定  
現職教員より申請書の提出があった場合、実行委員長は、当該大会の会計担当とともに申請内容を審査した上、補助金の給付を決定するものとする。また、申し合わせに従って補助金の金額を決定する。
6. 実行委員長は、補助金の給付を決定したとき、「中国・四国支部大会 交通費補助金決定通知書」によって当該現職教員（以下「補助金決定者」という）に通知し、交通費補助金を給付する。
7. 給付決定の取消し
  - (1) 実行委員長は、補助金決定者が上記の給付要件に該当しないことが判明したとき、当該給付の決定を取り消すことができる。
  - (2) 実行委員長は、前項の規定により給付の決定を取り消したときには、「交通費補助金取

消通知書」によって補助金決定者に通知する。

- (3) 前項の通知を受けた補助金決定者は、既に受領した場合には交通費補助金を返納しなければならない。

付則

令和3年4月 施行予定（案）

## 申し合わせ事項

### 交通費の算出

具体的な算定方法については、時刻表及び運賃表などを参照して経済的かつ合理的な割引率がある旅程については、その料金を適用する。

運賃 + 特急又は急行料 = 交通費

- (1) 運賃…当該旅行区間の旅客運賃

支部大会開催会場の最寄りの駅または停留所までとする。公共交通機関（タクシーは除く）に限って実費を支給することとする。

- (2) 特急又は急行料…片道 100 km 以上の場合とする。

但し、特別車両料金（グリーン料金）は支給しない。

航空機の使用は、航空機の利用が最も経済的かつ社会一般の者が通常利用している経路である場合に限って、その使用を認める。

なお、給付する交通費は1往復までとする。

付則

令和3年4月 施行予定（案）

### 【中国・四国支部 優秀研究発表賞制度の提案の趣旨】

家政学に関する研究のますますの活性化を企図し、人間生活の充実と向上に寄与する研究の発展や、その人材育成を目的とする。さらに本支部としては、以下の2点もその目的とする。

1. (一社)日本家政学会中国・四国支部の会員数の増加ならびに研究の活性化.
2. (一社)日本家政学会中国・四国支部が主催する「中国・四国支部大会」の活性化, ならびに発表件数の増加.



### 授与する「木製表彰盾」のイメージ

<参考>

300×225mm	¥14,000 (税別)
270×205mm	¥12,000 (税別)
240×180mm	¥9,000 (税別)

## (一社)日本家政学会中国・四国支部 優秀研究発表賞授賞内規(案)

1. 中国・四国支部 優秀研究発表賞の授賞は、本内規により行う。
2. 本支部は、本支部が主催する「中国・四国支部大会」において研究発表した優秀な本支部会員に対し、中国・四国支部 優秀研究発表賞を授与する。
3. 授賞資格は次のとおりとする。
  - (1) 「中国・四国支部大会」での全ての発表者(登壇者)とする。
  - (2) 授賞のとき、本支部の会員であること。
4. 中国・四国支部 優秀研究発表賞の受賞者には、次年度の研究発表会において賞状及び副賞を贈る。これらに要する費用は、本支部経費及び寄付金をもって充てる。
5. 受賞者の選考手続きは次のとおりとする。
  - (1) 審査者は、研究発表会当日に出席していた支部長、監事、常任幹事、機関幹事、会計幹事、庶務幹事、および研究発表会の座長とする。
  - (2) 審査者は、申し合わせの選考基準に則り審査する。
  - (3) 審査者が対象となる研究発表の登壇者もしくは共同研究者である場合も、審査に制限は加えない。但し、できる限り客観的な評価を心がけねばならない。
  - (4) 審査内容は、研究発表要旨集、ならびに当日の研究発表とする。
  - (5) 審査にあたっては、審査者の持ち点制として審査を行う。
  - (6) 受賞者の数は、口頭発表およびポスター発表ごとに、それぞれ発表者数に応じて決める。
  - (7) 上記審査結果に基づいて、支部長が組織した数名からなる選考委員会の議を経て受賞候補者を決定する。決定に際しては、原則として審査者による投票結果の上位から選出するものとする。但し、同数、僅差などの場合は、選考委員会メンバーの合意のもとに決定する。
  - (8) 授賞候補者の決定結果は、選考委員会より支部長を経て常任幹事会に報告する。
  - (9) 常任幹事会は受賞者を決定する。
6. 受賞者決定の結果は、支部長より書面をもって受賞者本人に通知する。さらに、本支部ホームページにおいて優秀研究発表賞の受賞者名、研究題目を公開する。
7. 優秀研究発表賞の表彰式は、原則として次年度の研究発表会において実施する。

付則

令和 3 年 4 月 施行予定 (案)



## 申し合わせ事項

### 1. 選考の基準

- (1) 研究発表要旨集の体裁(フォーマット, 見易さ, 文章表現)および内容
- (2) 口頭発表における方法, 態度およびストーリー性, ならびに質疑応答の的確さ
- (3) ポスター発表におけるポスターの内容, 態度およびストーリー性, ならびに質疑応答の的確さ
- (4) 発表内容の新規性・論理性・正確性
- (5) 将来への展開性・応用性・有用性

### 2. 評価の方法

審査者は優れていると思われる発表を5件選ぶ。無記名の用紙に, 最も優れていると思われる発表1件に「3点」, 次に優れていると思われる発表2件に「2点」, 次次に優れていると思われる発表2件に「1点」を採点する。上記の採点方法に不都合が生じた場合には, 適宜変更することも可能とする。

### 3. 審査者の聴講

審査者は, できるだけ多くの研究発表を聴講した上で選考基準に従って投票することを原則とする。但し, 一部の発表を聴講できなかった場合, 非聴講の発表については, 研究発表要旨集等の内容から評価することも可能とする。

### 4. 受賞者の選出件数

発表件数に応じて, 概ね以下の件数を選出する。

発表件数が 1～10 件の場合は, 1 件程度。

発表件数が 11～20 件の場合は, 2 件程度。

発表件数が 21～30 件の場合は, 3 件程度。

なお, 口頭発表, ポスター発表ごとに選出件数を定める。

付則

令和3年4月 施行予定 (案)

# 支部ホームページのリニューアル

資料 13

R02 年度常任幹事会  
R02 年 9 月 27 日 (日)



## 「お知らせ」

日付	内容
令和2年7月1日 <b>New</b>	(一社) 日本家政学会第67回中国・四国支部大会の中止について 詳細は次の PDFファイルをご覧ください。
令和2年7月1日 <b>New</b>	中国・四国支部事務局は、令和2年4月より、島根大学人間科学部に移りました。 どうぞよろしくお願いいたします。
令和元年10月31日掲載	(一社) 日本家政学会中国・四国支部のホームページ上の各種ファイルを、最新版に更新しました。 掲載内容についてお気付きのことなどがありましたら、支部事務局までメールでお知らせ下さい。
令和元年10月12・13日	広島大会は盛会の裡に終了しました。 会員のみなさまのご協力のもとに第66回 (一社) 日本家政学会 中国・四国支部研究発表会

新たに「申込み受付自動管理システムを導入し、ウェブ上で支部大会への参加や研究発表会の申し込みができるようになります。  
その際、「要旨書式」もダウンロードできるようにして、大会担当者の負担軽減をはかります。

# 「申し込み受付自動管理」

第65回 日本家政学会中国・四国支部大会

発表申込はこちら

参加申込はこちら

令和2年7月1日 New (一社) 日本家政学会第67回中国・四国支部大会の中止について  
 詳細は次の PDFファイルをご覧ください。

令和2年7月1日 New 中国・四国支部事務局は、令和2年4月より、島根大学人間科学部に移りました。  
 どうぞよろしくお願いいたします。

令和元年10月31日掲載 (一社) 日本家政学会中国・四国支部のホームページ上の各種ファイルを、最新版に更新しました。  
 掲載内容についてお気づきの点がございましたら、支部事務局までメールでお知らせください。

第65回 (一社)日本家政学会中国・四国支部大会

### 発表申込

発表日：202●年●月●日 (日)

以下の発表申込フォームに必要事項をご記入のうえ、送信下さい。

**研究発表要旨について**

必須	氏名	<input type="text"/>
必須	フリガナ	<input type="text"/>
必須	所属	<input type="text"/>
必須	所属先部署名	<input type="text"/>
必須	連絡先	<input type="text"/>

## 「発表分野」などを選択。

**発表分野**

家政学原論  家庭経営・経済  家族  児童・保育

食物  被服  住居  教育

広領域(環境、高齢者の生活、生活と情報、福祉)  その他

**発表题名**

**発表者(演者に○印)**

※発表者全員の氏名・ふりがなと所属を記入し、演者に○印をつけてください。  
 記入例  
 中国太郎・ちゅうごくたくろう (△△大教),  四国花子・しこくはなこ (◇◇大農), ...

**発表形式**

口頭発表  ポスター発表

口頭発表又はポスター発表のどちらでもよい

**その他**

※事務局に連絡すべき事項があれば、お書きください。

**【連絡事項】**

- 口頭発表の発表時間は15分(発表12分、討論3分)です。
- ポスター発表はポスター前にて、説明・討論を20分間行なっていただきます。

「確認」をクリックして完了。

※事務局に連絡すべき事項があれば、お書き込みください。

【連絡事項】

- 口頭発表の発表時間は15分(発表10分、討論5分)です。
- ポスター発表はポスター前にて、説明・討論を20分間行っていただきます。

発表には別途、参加申込が必要です。参加申込フォームに従ってお申し込みください。

**確認**

**研究発表要旨について**

研究発表要旨 様式及び記入例 (A4 用紙) 

**原稿提出方法：**

- 送付先アドレス：webmagic.admin@gmail.com
- 件名の頭に「要旨原稿送付」「要旨送付」など、「要旨」の単語を必ず入れて下さい
- 添付のファイル名は「筆頭発表者の氏名.pdf」として下さい ※要旨集は、モノクロ印刷されます
- 締め切り日：○○月○○日(厳守)

支部賞の論文PDFをダウンロードできるようにします。

要旨の様式及び記入例もダウンロードできます。

研究発表要旨 様式及び記入例 (A4 用紙)

A4 用紙

表題・所属は**3cm 空白**を設けてお書きください。空白に講演番号を入れます

A4 用紙の上下左右にそれぞれ用紙の端から**3cm の余白**を取ってください。

枠線は描かないでください

食品のおいしさに対する物理的性質の.....  
△△大教 ○中国太郎 四国花子  
□□大農 高松次郎

代筆者は○をつけて下さい。

[目的].....  
[方法].....  
[結果].....

表題、所属、本文とも、フォントは**14ポイント**程度、また本文は50文字×18行程度としてください。



**第65回 日本家政学会中国・四国支部大会**

テキスト・テキスト・テキスト・テキスト・テキスト・テキスト・テキスト・テキスト・テキスト・テキスト・テキスト・テキスト・テキスト・テキスト・テキスト・テキスト  
テキスト・テキスト・テキスト・テキスト・テキスト・テキスト・テキスト・テキスト・テキスト

令和2年7月1日 New      (一社)日本家政学会第67回中国・四国支部大会の中止について  
詳細は次の PDFファイルをご覧ください。

「参加申込」をクリック。

**第65回 (一社)日本家政学会中国・四国支部大会**

### 参加申込

期日：202●年●月●日(土)～●日(日)

以下の参加申込フォームに必要事項をご記入のうえ、送信下さい。

<b>必須</b>	氏名	<input type="text"/>
<b>必須</b>	フリガナ	<input type="text"/>
<b>必須</b>	所属	<input type="text"/>
<b>必須</b>	所属先部署名	<input type="text"/>
<b>必須</b>	連絡先	<input type="radio"/> 勤務先 <input type="radio"/> 自宅
	郵便番号	<input type="text"/> 000-0000
<b>必須</b>	連絡先住所	<input type="text"/>

要旨集、懇親会の参加、弁当などを選択します。

<b>必須</b>	連絡先住所	都道府県： <input type="text"/> 市区町村： <input type="text"/> 番地・他： <input type="text"/>
<b>必須</b>	連絡先電話番号	<input type="text"/>
<b>必須</b>	メールアドレス	<input type="text"/>
<b>必須</b>	会員種別	<input type="radio"/> 正会員 (000円) <input type="radio"/> 会員外 (111円) <input type="radio"/> 学生 (222円)
<b>必須</b>	要旨集	<input type="radio"/> 要 (333円) <input type="radio"/> 不要
<b>必須</b>	懇親会	<input type="radio"/> 参加 (444円) <input type="radio"/> 不参加
<b>必須</b>	弁当	<input type="radio"/> 要 (555円) <input type="radio"/> 不要
	その他	<input type="text"/>

※事務局に連絡すべき事項があれば、お書きください。

大会参加費・要旨集代・懇親会費・弁当代は、大会案内に同封のゆうちょ銀行振替用紙にて、発表される方は●月●日まで、参加のみの方は●月●日までに入金してください。なお、領収書は、当日お渡しいたします。

「確認」をクリックして完了。



# 発表申込 受信メール

「発表申し込みの受信メール」

メイン

中国 太郎 [参加申込] 第65回(一社)日本家政学会中国・四国

中国 太郎 [発表申込] 第65回(一社)日本家政学会中国・四国

[発表申込] 第65回(一社)日本家政学会中国・四国支部大会

中国 太郎 [redacted] 経由

To 自分

[発表申込]

-----

[氏名] 中国 太郎  
[フリガナ] チュウゴク タロウ  
[所属] 島根大学  
[所属先部署名] 人間科学部  
[連絡先] 勤務先  
[連絡先住所] 690-0823 島根県松江市西川津町1060  
[連絡先電話番号] 0852-32-1600  
[メールアドレス] [redacted]

[発表分野] 家政学原論  
[発表題名] 題名-サブタイトル  
[発表者]  
○中国太郎・ちゅうごくたろう (△△大教)  
四国花子・しこくはなこ (◇◇大農)  
[発表形式] 口頭発表

[その他]  
テキスト・テキスト・テキスト・テキスト・テキスト・  
テキスト・テキスト・テキスト・テキスト・テキスト・  
第65回(一社)日本家政学会中国・四国支部大会

[メッセージの一部が表示されています] [メッセージ全体](#)

返信 転送

# 参加申込 受信メール

メイン

中国 太郎 [参加申込] 第65回(一社)日本家政学会中国・四国

中国 太郎 [発表申込] 第65回(一社)日本家政学会中国・四国

[参加申込] 第65回(一社)日本家政学会中国・四国支部大会

中国 太郎 [redacted] 経由

To 自分

[参加申込]

-----

[氏名] 中国 太郎  
[フリガナ] チュウゴク タロウ  
[所属] 島根大学  
[所属先部署名] 人間科学部  
[連絡先] 勤務先  
[連絡先住所] 690-0823 島根県松江市西川津町1060  
[連絡先電話番号] 0852-32-1600  
[メールアドレス] [redacted]

[会員種別] 正会員 (000円)  
[要旨集] 要 (333円)  
[懇親会] 参加 (444円)  
[弁当] 要 (555円)

[その他]  
テキスト・テキスト・テキスト・テキスト・テキスト・  
テキスト・テキスト・テキスト・テキスト・テキスト・テキスト・テキスト・テキスト・テキスト・  
第65回(一社)日本家政学会中国・四国支部大会

返信 転送

「参加申し込みの受信メール」

# 「発表申込者に対する自動返信」

登録メールアドレス宛てに自動返信します

差出人 第65回(一社)日本家政学会中国・四国支部大会 <[redacted]@gmail.com>★

件名 [自動返信][発表申込] 第65回(一社)日本家政学会中国・四国支部大会

宛先 [redacted]

[発表申込]

-----  
[氏名] 中国 太郎  
[フリガナ] チュウゴク タロウ  
[所属] 島根大学  
[所属先部署名] 人間科学部  
[連絡先] 勤務先  
[連絡先住所] 690-0823 島根県松江市西川津町1060  
[連絡先電話番号] 0852-32-1600  
[メールアドレス] [redacted]

[発表分野] 家政学原論  
[発表題名] 題名-サブタイトル-  
[発表者]  
○中国太郎・ちゅうごくたろう (△△大教)  
四国花子・しこくはなこ (◇◇大農)  
[発表形式] 口頭発表

[その他]

テキスト・テキスト・テキスト・テキスト・テキスト・テキスト・テキスト・テキスト・テキスト・テキスト。

テキスト・テキスト・テキスト・テキスト・テキスト・テキスト・テキスト・テキスト・テキスト・テキスト・テキスト・テキスト・

--

第65回(一社)日本家政学会中国・四国支部大会

登録メールアドレス宛てに自動返信します

差出人 第65回(一社)日本家政学会中国・四国支部大会 <[redacted]@gmail.com>★

件名 [自動返信][参加申込] 第65回(一社)日本家政学会中国・四国支部大会

宛先 [redacted]

[参加申込]

-----  
[氏名] 中国 太郎  
[フリガナ] チュウゴク タロウ  
[所属] 島根大学  
[所属先部署名] 人間科学部  
[連絡先] 勤務先  
[連絡先住所] 690-0823 島根県松江市西川津町1060  
[連絡先電話番号] 0852-32-1600  
[メールアドレス] [redacted]

[会員種別] 正会員 (000円)  
[要旨集] 要 (333円)  
[懇親会] 参加 (444円)  
[弁当] 要 (555円)

[その他]

テキスト・テキスト・テキスト・テキスト・テキスト・  
テキスト・テキスト・テキスト・テキスト・テキスト・テキスト・

--

第65回(一社)日本家政学会中国・四国支部大会

「参加申込者に対する自動返信」

お知らせ News&Topics

**▼ 支部活動 Activities**

▶ 研究発表会

▶ 支部賞

ギャラリー Gallery

▼ 支部組織 Organization

▼ 規約・議事録 Terms&Minutes of meeting

個人会員の皆様 For Individual members

関連ホームページ Related sites

## 四国支部 研究発表会 Research Presentation

一般社団法人日本家政学協会、四国支部では、毎年9月～10月頃に研究発表会を実施しています。会場は、中国・四国地域の大学やその他の施設にて行っています。開催される地域(由来する内容や家政学的な諸問題を題材とした公開講演会も実施しています。また、夜には懇親会も実施し、講演者や支部会員の親睦も図っています。研究発表会では分野ごとに会場を分け、研究に対して活発に意見交換を実施しています。口答発表やポスター発表等の形式をとっており、支部会員が発表しやすくなるように工夫しています。

### 令和元年度事業

#### 1. 研究発表会、公開講演会等の開催

##### 第66回研究発表会

日時	令和元年10月13日(日) 10:00～15:00
場所	広島修道大学8号館 8302,8304,8305,8306

##### 公開講演会(日本調理科学会合同公開講演会)

日時	令和元年10月12日(土) 13:30～15:50
----	---------------------------

「研究発表会」

「支部賞」

お知らせ News&Topics

**▼ 支部活動 Activities**

▶ 研究発表会

▶ 支部賞

ギャラリー Gallery

▼ 支部組織 Organization

▼ 規約・議事録 Terms&Minutes of meeting

個人会員の皆様 For Individual members

関連ホームページ Related sites

## 四国支部 支部賞制度 the Branch Award System

将来の家政学を担う本支部所属の若手研究者に対して、その研究を奨励し活性化するために支部賞制度を設けています。年齢は45歳未満を対象としています。候補者が大学院在学中に投稿された場合は年齢を問いません。日本家政学会誌に掲載された論文等(報文、ノート、資料)の筆頭者を対象としており、選考委員会での審査を行っています。大会において、賞状および副賞を贈呈しています。詳しくは、支部賞授賞内規をご覧ください。

年度	氏名	受賞論文の題目	巻, 号, 頁, 年	論文
令和01年度	該当者なし	—	—	—
平成30年度	伊藤 優	「食事の連絡帳」を媒介とした保育者による保護者支援—遊び食べや好き嫌いが激しい1歳半の男児Yの事例から—	日本家政学会誌, 68巻, 11号, 609-620 (2017)	
平成29年度	近藤 寛子	圧力移動凍結した3種類のカスタードクリームのレオロジー, 氷結晶, 官能評価	日本家政学会誌, 67巻, 10号, 553-564 (2016)	
平成28年度	齋藤 佳子	高知県における編物手芸学校の教育事情—洋影編物専門学校とフチ編物技芸学校を事例として—	日本家政学会誌, 66巻, 9号, 457-469 (2015)	
平成27年度	該当者なし	—	—	—
平成26年度	嶋田 さおり	焼き調理における加熱条件と推定方法の検討	日本家政学会誌, 64巻, 7号, 343-352 (2013)	
平成25年度	権田 あずさ	幼稚園3歳児の日常的な母のかかわりと園生活の進行に伴う母親の気持ちの変化	日本家政学会誌, 63巻, 4号, 193-203 (2012)	

支部賞の論文 PDF をダウンロードできるようにします。

お知らせ News&Topics

▼ 支部活動 Activities

**▼ ギャラリー Gallery**

▼ 支部組織 Organization

▼ 規約・議事録 Terms&Minutes of meeting

個人会員の皆様 For Individual members

関連ホームページ Related sites

## ギャラリー

準備中

### 「ギャラリー」

支部大会、基調講演会、研究発表、授賞式などの写真をアップし、支部会活動を広報したいと考えます。

表示例

写真 写真 写真



お知らせ News&Topics

▼ 支部活動 Activities

ギャラリー Gallery

▼ 支部組織 Organization

▶ 支部長あいさつ

▶ 支部役員

▶ 所属機関リスト

▶ 規約・議事録 Terms&Minutes of meeting

個人会員の皆様 For Individual members

関連ホームページ Related sites

**「支部長あいさつ」**

様々な地域の特徴を生かして、家政学の発展を目指す

日本家政学会 中国・四国支部は、瀬戸内海を挟んで中国・四国、瀬戸内、南四国では、気候や立地条件が大きく異なります。それぞれで様々な風土や文化を持っています。秋の総会では、一堂に集まって家政学の広範囲の領域に関する活発な議論を行っています。また、「支部賞」を授与する制度を取り入れ、積極的に若手研究者を支援しています。さらに新たな取り組みも取り入れて、家政学のさらなる発展を目指して活動と発展を続けています。

中国・四国支部長 高橋哲也 (島根大学 人間科学部)

**Aiming to develop home economics by making full use of the characteristics of various regions**

This branch consists of nine prefectures facing the Seto Inland Sea. Climatic and geographical conditions of San-in, Setouchi and South Shikoku regions are distinct, with each region exhibiting various natural features and cultures. In the "Research Presentation" held in autumn, the assembled members have a lively discussion. In addition, we have established "the Branch Award System" to support young researchers. We would like to incorporate new efforts to further develop the home economics.

Branch Manager of the Chugoku and Shikoku District, **Tetsuya Takahashi, Ph.D. (Shimane University)**

お知らせ News&Topics

▼ 支部活動 Activities

ギャラリー Gallery

▼ 支部組織 Organization

▶ 支部長あいさつ

▶ 支部役員

▶ 所属機関リスト

▶ 規約・議事録 Terms&Minutes of meeting

個人会員の皆様 For Individual members

関連ホームページ Related sites

**「支部役員」**

支部役員 (令和02・03年度)

役職名	県名	氏名	勤務先住所
支部長	-	高橋哲也	島根大学人間科学部 〒690-8504 松江市西川津町1060
常任幹事	鳥取	古部丞実	鳥取短期大学生活学科 〒682-8555 鳥取県倉吉市福庭854
	島根	藤原由香	島根県立大学人間文化学部 〒690-0044 島根県松江市浜乃木7-24-2
	山口	里野裕之	山口大学教育学部 〒753-8513 山口市大字吉田1677-1
	広島	村上かおり	広島大学大学院教育学研究科 〒739-8524 広島県市鏡山1丁目1-1
	広島	岡本洋子	広島修道大学 〒731-3195 広島市安佐南区大塚東一丁目1番1号
	岡山	山下広美	岡山県立大学保健福祉学部 〒719-1197 総社市津木111
	岡山	李環媛	岡山大学大学院教育学研究科 〒700-8530 岡山市北区津島中3-1-1
	香川	次田一代	香川短期大学 〒769-0201 香川県綾歌郡宇多津町浜一番丁10番地
	愛媛	眞鍋郁代	愛媛大学教育学部 〒790-8577 松山市文京町3番
	高知	島田郁子	高知県立大学健康栄養学部 〒781-8515 高知県高知市池2751-1
徳島	坂本有芳	鳴門教育大学学校教育研究科 〒772-8502 徳島県鳴門市鳴門町高島字中島748番地	
役職名	氏名	所属	
監事	三木幹子	広島女学院大学	
	鈴木明子	広島大学	
	鎌野育代	島根大学	

お知らせ News&Topics

▼ 支部活動 Activities

ギャラリー Gallery

▼ 支部組織 Organization

▶ 支部長あいさつ

▶ 支部役員

▶ 所属機関リスト

▶ 規約・議事録 Terms&Minutes of meeting

個人会員の皆様 For Individual members

関連ホームページ Related sites

**「所属機関リスト」**

- 鳥取短期大学
- 鳥根大学
- 島根県立大学・島根県立大学短期大学部
- 島根大学
- 宇部短期大学
- 山口県立大学
- 山口大学教育学部
- 広島修道大学
- 比治山大学・比治山大学短期大学部
- 広島女学院大学
- 県立広島大学
- 広島文科大学
- 広島文化学園短期大学
- 広島国際大学
- 広島文教女子大学
- 福山大学生命工学部
- 福山市立大学
- 安田女子大学
- 広島都市学園大学
- 岡山県立大学保健福祉学部
- 山陽女子短期大学
- 岡山県立大学保健福祉学部
- 岡山大学大学院教育学研究科
- 倉敷市立短期大学
- くらしき作陽大学食文化学部
- 山陽学園大学・山陽学園短期大学
- 就美短期大学
- 中国学園大学・中国短期大学
- ノートルダム清心女子大学
- 美作大学・短期大学部
- 倉敷芸術科学大学
- 香川短期大学
- 香川大学教育学部
- 愛媛大学教育学部
- 松山東雲短期大学
- 高知県立大学健康栄養学部
- 高知大学教育学部
- 四国大学生活科学部・短期大学部
- 徳島文理大学人間生活学部・短期大学部
- 鳴門教育大学学校教育学部

お知らせ News&Topics | 支部活動 Activities | ギャラリー Gallery | 支部組織 Organization | **規約・議事録 Terms&Minutes of meeting** | 個人会員 For Individual members

**支部規約・内規**

- 支部規約 (2017年10月01日改正)
- 支部内規・申し合わせ (2019年9月23日改正)
- 支部賞授賞内規・申し合わせ (2019年10月08日改正)
- 理事候補者選出方法に関する申し合わせ (2016年9月17日改正)
- 代議員選出方法に関する申し合わせ (2012年10月07日改正)
- 吊辞・供物に関する申し合わせ (2019年9月23日改正)
- 支部研究発表会担当機関一覧表
- 支部研究発表会担当県一覧表

## 「支部規約・内規」

## 支部規約・内規

お知らせ News&Topics | 支部活動 Activities | ギャラリー Gallery | 支部組織 Organization | 規約・議事録 Terms&Minutes of meeting | **個人会員の皆様 For Individual members** | 関連ホームページ Related sites

**個人会員の皆様**

**【個人会員の皆様へのお願ひ】**

支部事務局から個人会員へのお知らせは、従来より郵便によりおこなっていますが、可能なものは、できるだけEメールでおこないたいと考えています。

個人会員とは、所属機関リストのページに掲載の機関で管理している会員（機関会員）以外の会員を指します。機関会員だった方がご定年、ご退職などで機関を離られた場合も、個人会員となります。

個人会員の皆様は、下記のアドレス（支部庶務幹事：鶴永のアドレス）にご一報下されれば、以後はメールにてお知らせ等を送らせていただきます。

なにとぞご協力下さるようお願いいたします。

この件に関する問い合わせも下記アドレスにお願いします。

ytsurunaga@hmn.shimane-u.ac.jp

## 「個人会員の皆様」

新たに、「個人会員の皆様」のバーナーを設け、機関に所属していない個人会員への情報発信や連絡等に役立てます。

## 「関連ホームページ」

お知らせ News&Topics | 支部活動 Activities | ギャラリー Gallery | 支部組織 Organization | 規約・議事録 Terms&Minutes of meeting | 個人会員の皆様 For Individual members | **関連ホームページ Related sites**

**関連ホームページ**

一般社団法人 日本家政学会	一般社団法人 日本繊維製品消費科学会	日本衣服学会
一般社団法人 繊維学会	一般社団法人 日本繊維機械学会	一般社団法人 日本調理科学会
公益社団法人 日本食品科学工学会	一般社団法人 日本保育学会	一般社団法人 日本人間工学会
一般社団法人 日本建築学会	日本家庭科教育学会	

参考資料  
R02年度常任幹事会  
R02年9月27日（日）

## 歴代支部長（顧問）名簿

	氏名	支部長在任年度	住 所
初代	(故) 岡上 誠子	昭和29～35	
2代	(故) 溝上 泰子	昭和36～39	
3代	(故) 筒井まさを	昭和40～41	
4代	(故) 大坪 サキ	昭和42～44	
5代	(故) 野口二三子	昭和45～47	
6代	(故) 吉岡 清子	昭和48～49	
7代	(故) 瀬之口スミ	昭和50～55	
8代	(故) 小野 謙二	昭和55～60	
9代	山田 都一	昭和61～平成元	
10代	佐藤 孜郎	平成2～5	
11代	田村 咲江	平成6～9	
12代	杉原 黎子	平成10～13	
13代	石川 行弘	平成14～17	
14代	岩重 博文	平成18～19	
15代	平田 道憲	平成20～23	
16代	河田 哲典	平成24～27	〒700-8530 岡山市北区津島中3-1-1 岡山大学大学院教育学研究科
17代	今川 真治	平成28～令和元	〒739-8524 東広島市鏡山1-1-1 広島大学大学院教育学研究科
18代 現支部長	高橋 哲也	令和2～	〒690-8504 島根県松江市西川津町 1060 島根大学人間科学部